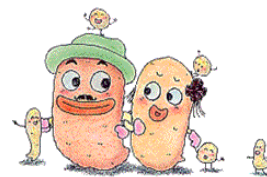


湯戸飛夜いけいけだよ



Jinen Joe family

発行 西徳山まちづくりの会

記事:

- ・主催行事
「駅前ピアガーデン」
開店報告と次回開店の
予告
- ・連載小説
『涙にぬれた蒼き思
いー徳山七土物語-
』新連載
- ・ソーネ周南夏まつり
焼きイカで出店しま
した
- ・戸田駅前再整備
「ポケットパーク」に
ついて
- ・花いっぱい運動
花壇の水やりにつ
いて
- ・お知らせ

会員募集中

あなたも「西徳山まち
づくりの会」で一緒に
活動しませんか。会
では、常時、会員を
募集しています。

連絡先:

(0834)63-3770

(神本)まで

主催行事

「駅前ピアガーデン」開店報告と次回開店の予告

この夏もとても暑い7月23日(土)午後3時、まちづくりの会恒例の駅前
広場での海鮮バーベキュー大会が開催されました。



木陰に入りながらアツアツのさかな、サザ
エ、お肉などを食べながらキンキンに冷えた
生ビール、たまりません！会員提供の野菜の
ピクルスもあり、この夏を乗り切ろうと話も弾
みました。

今年は、うれしいことに若い人たちもポスタ
ーを見て参加し、会員も意気があがりました。



来年には、ポケットパークもでき、このピ
アガーデンがますます盛り上がる行事に
なればと思います。

また、この10月には、秋の味覚を愉し
もうと「秋覚祭(しゅうかくさい)」を駅前広
場で開催します。

日時 平成28年10月29日(土)
午後2時～4時

皆様のご来店をお待ちしております。

店主敬白



連載小説

『涙にぬれた蒼き思い—徳山七士物語—』

新連載

文 城山 耕作

【はじめに】

江戸時代末期、たびたび日本近海に現れる外国船を不快とした孝明天皇は、1847年、江戸幕府に対して「攘夷令」を命じ、それ以来、「攘夷はお上の意思である」という思想が人々の間に根付いていった。

1853年以降になると、浦賀沖に黒船が来航したことを契機に、幕府は朝廷の許可を受けないまま開港・条約締結を行い、天皇と幕府の軋轢は日増しに大きくなっていった。そこで幕府は1862年、朝廷との融和策（公武合体）として、天皇の妹「和宮」と十四代将軍徳川家茂の婚姻を成立させ、幕府が正式に朝廷に対して「攘夷」を誓うこととなった。

黒船来航当時、浦賀警備の任に就いていた長州藩では、幕府が朝廷の意思に反する行動を続けることに反発し、同様の反応を示す水戸藩・薩摩藩などと「尊王攘夷思想」が急激に高まり、次第に京都洛中に同じ思想を持つ藩士が集まると、「開国派（諸外国と広く交易すべきとの思想）」「佐幕派（幕府を補佐しようとする思想）」の武士を天誅と称して過激な行動に出るものが現れるようになった。京都御所内では、武力行使もいとわぬ尊王攘夷思想に理解を示す三条実美をはじめとする公卿が天皇の側近に現れ、天皇を取り巻く環境は複雑な状況となっていった。

また、幕府が朝廷に誓った攘夷を長州藩は実行に移し、幕府が開港した結果で関門海峡を往来する外国船籍に対し、一方的な砲撃を加え、四ヶ国（米仏蘭英）連合艦隊から手痛い反撃を受け、列強との武力の差を痛感し、長州藩全体が浮足立った状況となっていた。

この状況のなか、1863年8月13日、天皇の攘夷親征の先駆けとなる大和行幸の詔が発せられ、会津藩・薩摩藩（藩主交代により藩論変更）を中心とする公武合体派が武力を伴う過激な尊王攘夷派を京都洛中から一掃するべく動き出し、8月18日未明、会津・薩摩・桑名各藩に対して天

皇の密勅が発せられ、京都御所九つの門全てに各藩兵が配置され、堺町御門を警備する長州藩兵を排除、尊王攘夷派の公家及び長州藩主父子の処罰が朝議で決し、長州藩の政治的な地位や関係する公卿も京都から追放されることになった（八月十八日の政変）。

長州藩は、萩に拠点を置く毛利本藩と四つの支藩（岩国・長府・清末・徳山藩）から成り、江戸時代末期、徳山藩から本藩へ嗣子（養子）となった「毛利元徳（もうりもとのり）」、徳山藩主「毛利元蕃（もうりもとみつ）」、本藩家老で宇部に領地を持つ「福原元憫（ふくはらもとたけ）（通称：ふくはらえちご）」は血の繋がった実の兄弟であることから、本藩と支藩が親密に交流のある状況であった。

これから始まる物語は、福原越後（兄）、元蕃、元徳（弟）など、藩を代表する者と共に生き、殉難に遭った徳山七士をモデルにした創作である。



【物語の始まり】

徳山藩家老の野上源次郎の屋敷に、一人の武士が息を切らしながら走りこんで来た。

「大変です、野上様、幾乃どのが東荷村の茶屋で働いているところを見かけました。本人を説得して、連れ戻しますか？」「本当に、間違いなのか？別人でないのか、再度確認をしろ。本人ならば、大変なお手柄だぞ。」と野上が答えると、「間違いはありません。城内で下働きをしている時に、私はあの顔を見たことがあります。それに、町娘には不相応なかんざしもして、息を飲んでしまいました。」「よし、明朝、わしの手の者を数名、その茶屋に向かわせるので、案内せい。」

幾乃とは、徳山藩主の毛利元蕃（もとみつ）が以前、城内で下働きをしていた娘に「幾乃」という

名を与え、お側近くにおいていたが、身分が低いこと、正室や奥女中などからの嫌がらせに耐えかね、数年前に城から飛び出したまま行方知れずになった娘である。行方知れずになっている事を、以来、元蕃は大変に残念がっていた。

明朝、束荷村の茶屋に一行が向かうと、かいがいしく働く幾乃がいた。

一行が席に着くと、「いらっしやいませ、お団子でよろしいですか？お侍さま。」と聞く。

「団子と茶を三つたのむ。ちと、おぬしと話がしたい。後で少し話せぬか？」と武士が言う。

不思議そうな顔をして奥に戻ると、しばらくして、団子と茶を持って席にやってきた。

「おぬし、かつて殿(元蕃)の元にいた、幾乃どのではないのか？殿が、大変に残念がっておられる、城に戻ってはくれませぬか？」その娘は、いきなりの丁寧な口調に驚くと同時に、困惑した表情を浮かべ、「私は、もう窮屈な暮らしは御免です。ここで、貧しくともつつましい生活をしたいと思いますゆえ、このまま静かにお帰りください。」と言う。

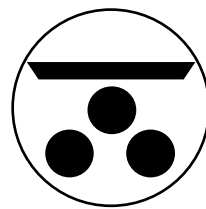
「おぬしを、家老の野上様が、ぜひ養女に迎えたいと話しておられる。今の野上様は、萩本藩にも名が通る、わが藩随一の家老でおられる。養女から、殿のお側に再び上がることになれば、おぬしは何も

怖いもの無しだと思われるが。」

一刻(ひととき)がたち、幾乃は、一行と共に、徳山に戻る事となった。

二月後、家老である野上の養女から、幾乃は元蕃の側にあがり、かつての寵姫を見つけてきた野上に対して、元蕃は大いに喜び、聡明で善政を行ってきた一切を、以降は、野上に託すようになった。

(以下次号)



ソレーネ周南夏まつり

焼きイカで出店しました

8月20日(土)の夕方、ソレーネ周南で実施された夏まつりにおいて、「イカ焼き」を出店しました。



これまでも色々なイベントでイカ焼きを出店し、美味しいと大好評でしたので、その声に押されての出店です。残暑と木炭で焼き上げる熱さに苦労しましたが、準備していたイカの大半が次々と売れていき、お客さんも会員も楽しい時間を過ごせるという、充実した夏の思い出となりました。

今回は、「イカを食べ易い大きさに切って」という要望に応じて、万全の準備をしていましたので、沢山の笑顔を見ることができました。

木炭と網で一本ずつ丁寧に焼き上げたイカ焼きですので、今後も西徳山地域のイベントで出店をしている際は、ぜひご賞味ください。

(村リン)

西徳山まちづくりの会

編集後記

2016年のリオ・オリンピックは、日本選手の活躍のうちに終わりました。次は2020年の東京です。

平成23年1月に作成した西徳山まちづくりの会の基本構想「西徳山ウソップ物語パートⅡ」では、2020年の戸田駅前を次のように描いています。

西徳山の玄関口として、訪れる人々を温かく迎えられるよう、また毎日の通勤・通学で駅を使う人々が、気持ちよく利用できるように、「花の駅」を目指してきたかきがあって、季節の花が咲き誇っている。また、売店や軽食喫茶があって、お年寄りが話し相手を求めて集まってきて、落ち着いてほのぼのとした憩いの場所になっている。

このように、私たちは考えていました。そして今、周南市は戸田駅前の整備の集大成として、ポケットパークや花壇などを今年度中に整備する方針を示しています。整備された場所を有効に使うのは、そこに暮らす住民であったり、駅を利用する人であったり、駅前を拠点として活動するボランティアであったりします。施設に魂を吹き込んでいくように、これからも活動やイベントを行っていかうと思ひます。

発行責任者

会 長 神本康雅
広報部長 木曾裕子

西徳山まちづくりの会

ホームページ URL:

nishitokuyama.web.fc2.com

戸田駅前再整備

「ポケットパーク」について

戸田駅前広場の西側の旧『とれたて市場ゆーとぴや』跡地について、駅前広場の一部として、再整備されることになりました。

西徳山まちづくりの会では、以前から、跡地について全体を公園(ポケットパーク)として整備することを要望してきました。

このたび、市より部分的に憩い空間のある駐車場として整備する旨の報告がありました。

なお、工事は今年度中を予定しているとのことです。



私たちまちづくりの会では、『戸田駅を花の駅にしよう』を合言葉に駅前花壇の手入れを続けてきています。今回、新たに花壇も整備されると聞いておりますので、季節に応じた花を植え、利用者の憩いの場所となるよう頑張っていきます。

愛着のもてる戸田駅になるよう、一緒に盛り上げていきましょう。

花いっぱい運動

花壇の水やりについて



毎年恒例の花壇の水やり作業を実施しました。

戸田駅前の花が、水が欲しいと泣き叫んでいるのが聞こえてきます。今年は特に暑さがきびしく、会員の額や背中には汗が流れ落ちました。

当番の日には、天気予報を見、空を眺め、雨乞いをしたものです。それでも水が追いつかず、枯れてしまった花もありますが、なんとか戸田駅前を飾ってくれているのを見ると、暑さもなんのその！

花々は癒しのアイテムのひとつです。

お知らせ

西徳山まちづくりの会全体会

原則として毎月第1水曜日の19:30から夜市公民館で開催します。
映画鑑賞会「そうだ!!昔の映画を見よう！」

原則として毎月第3水曜日の19:00から夜市公民館で開催します。
興味のある方、無料ですので、是非おいでください。

戸田駅前花壇の手入れ

毎月第2、第4土曜日の16時から、戸田駅前広場の清掃と花壇の手入れを行っています。お手伝いしていただける方、大歓迎です。